

韓国初の女性大統領遂に罷免・逮捕

国際ジャーナリスト 国木田 勝

「政治的空白」を揺さぶる北朝鮮

海外レポート

根強い大統領「再生」の声

朝鮮半島は今や荒れ模様——去る3月10日、韓国の憲法裁判所が朴槿恵（パク・クネ）大統領（65）を罷免、同性愛の関係にあった崔順実（チェ・スンシル、60歳）被告の運営会社に約43億円を渡すなど、13の職権乱用などの容疑で本格的な取り調べに乗り出した。

憲法裁判所は、3月21日朝、朴容疑者を呼び出し、ソウル中央地方検察局での事情聴取を開始、同容疑者は黒のスーツを身にまとい、待ち受けた多数の報道陣に対し、軽く頭を下げて「真実は必ず明らかにになると信じている」と語り、聴取に応じる姿勢を示した。

朴容疑者は親友の崔被告が支配する財閥への出資を財界に要求して、

計774億ウォン（約77億円）を集めた。検察はこの行為が強要や職権乱用に当たると判断した。

その後、特別法に基づき捜査した特別検察官は、財界による一連の資金拠出のうち、サムスン・グループによる約4340億ウォン（約43億円）については、朴容疑者が大統領権限を行使し、サムスンの経営に便宜を図った賄賂だと判断した。

朴容疑者に対する事情聴取は21日午前9時過ぎから午後11時40分頃まで約14時間行なわれ、検察は逮捕状を請求するかどうか検討に入った。事案の重大性から逮捕は不可避と見られている。韓国メディアによると、朴容疑者は今回の聴取で容疑を全面的に否認している。

主な容疑は、53の企業への資金拠出強要、ロッテに対する追加拠出要求、「現代自動車」に対して崔被告の知人採用や広告発注で企業側に圧

力、また崔被告の企業と契約するよ

うに公営企業を圧迫、崔被告側に政府機密書類を渡すよう秘書官に指示。サムスン・グループから約4330億ウォンの賄賂を受け取る、文化・芸術支援事業でブラックリストの作成を指示したという容疑の数々が浮上している。（注・聯合ニュース作成資料より）

これら多岐に渡る容疑について朴容疑者は「文化育成などの目的」「中小企業支援の意図で、私的利益を得ていない」「実力を発揮する機会を崔氏のために探してあげたかったから」「文化・体育育成の観点から協力を依頼した」——などと、職権乱用・強要などの容疑を全面的に否認している。

韓国史上、唯一の女性大統領だった朴容疑者だが、国民はこれまでの男性大統領のうち4人が任期（5年間）前に自殺、暗殺、病死、逃走



3月31日未明遂に逮捕された朴前大統領

などで、大統領の地位を失っているという悲劇が続いた。

一部の現地報道では女性大統領への人気、支持率が高かっただけに、今後の政局の動きによっては朴容疑者が「再生」して大統領ポスト復活するのでは、と言った期待はあるようだが、韓国大統領選挙の投票票が政府の臨時閣議で来たる5月9日に行なうことが決められた。

現在の各政党の構図を見てみると、第1党が「共に民主党」で、最近の世論調査によると支持率50・0%で独走気味。

これを追うのが朴容疑者の出身母体「セヌリ党」だが、彼女の逮捕で分裂、今や「自由韓国党」(11・6%)と「正しい政党」(4・8%)が追いつ



次期大統領として最有力の文在寅氏(本人HP)

それぞれ有力候補を求めている。他には「国民の党」(12%)、「正義党」(6%)と続き、無党派は12・8%。

世論調査では朴容疑者の罷免を約80%強が評価しているが、もし処罰なり刑を終えれば、その後政界に復帰することもあり得るし、これまでの支持者の中には、政界への返り咲きを期待する向きはかなり強いはずと見る。

韓国内の世論は今、5月にも行なわれる見通しの次期大統領選挙へと集まっており、最有力候補と目される顔ぶれの中には、左派政治家で「共に民主党」の文在寅(ムン・ジェイン)前代表(支持率29・9%)、2位は同党の安熙正(アン・ヒジョン)・忠清南道知事(17%)らが有力視されており、野党「国民の党」などは出遅れている。

「赤信号で列車止めるべき」

5月の大統領選まで韓国政界は空白期間が続くが、この間、隣国の北朝鮮の動きは緊張を高める要因となっており、中国の王毅外相は朝鮮半島情勢について「北朝鮮は第1歩としてミサイル活動を一時中止し、米

韓も大規模軍事演習も一時停止することで危機を脱し、対話のテーブルにつくよう提案する」と述べ、北朝鮮と米韓双方に自制を呼びかけている。

王外相のこの提案の中で、半島情勢は「加速を続けながら譲らない列車のようだ」と例えて「双方は衝突する準備ができているのか。双方の当面の急務は、赤信号を点灯して停止させることだ」と訴えている。

この言に賛同する韓国民は圧倒的に多い。隣り合わせに毎日を生きる北朝鮮、韓国両国民も、神経の休まる時間もないはずだ。

3月に入って北朝鮮は中距離弾道ミサイル4発を日本海に向けて発射、また核ミサイル活動を活発化させている。

4発のミサイル発射のうち、3発が能登半島や秋田県沖の海上約200kmの海上に落下して、日本人も他人事ではない恐怖心を抱かざるを得なかった。

南北両国民の歩み寄り、果たして今後可能なのかどうか。

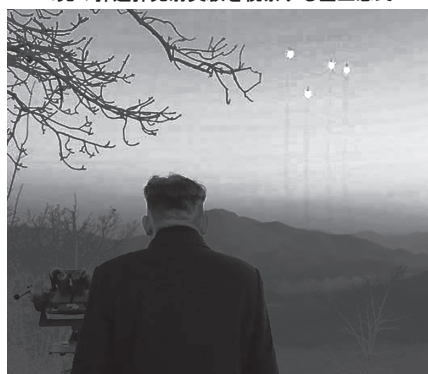
3月27日になって韓国の検察特別捜査本部は、朴前大統領の逮捕状を裁判所に請求、「権力乱用や公務上

の秘密の漏洩など、事実是非常に重大」と指摘、今後、証拠隠滅の事態が生じる可能性が強く憂慮されるとしている。

朴容疑者は現在、24時間体制で警察など司法機関による警護を受けているため、逃亡の恐れはない。

しかし、朴容疑者自身が容疑を全面的に否認していることから、司法当局の中には巨額の資産を、ハックに国外に逃げ道を見つけたこともあり得るとする向きも強いようだ。

朴容疑者の罷免、逮捕で5月9日に次期大統領選挙が行なわれる予定。韓国世論調査機関リアルメータは、有権者の72%が朴容疑者逮捕に賛成と答えた、としている。(3月31日現在)



4発の弾道弾発射実験を視察する金正恩氏